

がん検診の薦め

藤田整形外科（鶴島町） 藤田 十佐



私は平成27年5月大腸がんステージ4と診断されました。職員の健康診断で私自身の腫瘍マーカーが上昇していて、診てもらおうとS状結腸にがんがあり肝に大きな転移巣がありました。体調万全で自覚症状もない私がステージ4ですって!?

ところで私は治らない病気はないと思っています。自分に備わった治療力が病気を治すのです。じゃあ、なぜ治らない病気があるの？医療を敵（病気）と味方（自己治療力）との闘いと考えると、われわれは軍事を高めて敵をやっつけることを学んできました。でも自己治療力を増強しないと不十分です。病気が治らないのは、敵が強大で自己治療力を上回っているからです。原因は何であれがんになったこと自体、私の治療力が不足しているわけですから、

このままでは負けてしまう。まずは敵の勢力を落とさなきゃ。一刻も早く手術しなきゃ。じゃあどこで？がんを見つけてくれた従兄弟が太鼓判を押す医師が市立宇和島病院におられること、実際に剣の振るえる人は野にいますって!?

後肝臓とリンパ節に2回再発し、抗がん剤治療と3回の開腹手術とラジオ波焼却術を受け、現時点でがんは無い状態です。市立宇和島病院には本当にお世話になりました。

以前、がん放置療法などの医療否定本が話題になりました。天気予報は信じるのに医療を否定するのはなぜ？この世に100%確かなことはありません。でもそれで文明を否定しますか？医療の進歩を利用しないのであれば江戸時代と同じです。もちろん万能

ではない、害もあるでしょう。でもいつか克服されるはずで。電子レンジや携帯電話を利用するように医学を利用しようじゃありませんか。その上で自己治療力を高めて病気と闘っていきましょう。

まずがん検診は必ず受けましょう。もう高齢だからとか、怖いとかで受けていない人も多いでしょう。私も受けていませんでした。でも今ならまだ間に合うかもしれない。ただ間に合うかもしれない。たとえ進行がんの状態であってもまだ治療の方法があるかもしれない。私だって1年前だったら簡単な手術で完治だったかもしれない。

もしがんが見つかったとしても絶望することはありません。私はがんになってからの日々のほうが充実していて、むしろ前より良い生き方をしている気がします。

紅梅会

檜扇句会

つしま短歌会

吉田川柳会

余暇のひととき

ふと目覚め考えよぎる走馬灯
西田 裕至
気をつけてただでも乗るな口車
日野 厚生
思い出を美化して友と笑い合う
毛利 清子

被災地のボランティアに行く友二人「今日は
炊出し」と力ある声 中村 美鈴
銀杏ふぶきに幼子のごとく拍手する寺の茶席
首藤 千晶
除夜の鐘百八聞き煩惱払い先の知れない八十
路の道ゆく 森 ユミ子
晩年の夫の頼りし手摺りなりその年を越ゆ吾
が手にやさし 西崎美紀子
混沌と明日の見えない日本で「万引家族」の映
画身に染む 清家 幸子

住めば都と婆たちが柿吊す 板崎喜久子
久々の友と紅葉の智積院 岩藤 富子
師走てふ言葉に文字に急かさるる 奥野美代子
大鮎の背なに貼られし身分証 織田 好江
しぐるるやションの甘き歌流る 越智 夢童
つるもどき実の炸にけり笑顔の輪 近藤 正子
秋霖やひとひ茶の間の灯を点し 日高 峰子
溪谷は紅葉の安居山歩き 山本 浩康
枯芒揺れつ夕映え薄れけり 山本 道美

平成を生きた証の賀状書く 入江 瞳
面影を思ひ浮かべつ賀状書く 大坪 由美
連帯感覚ゆ喜び忘年会 澤田 勝美
彼の人を思ふ一言賀状書く 柴田 佳代
光陰の喜び哀しみ日記果つ 武田 房子
軸装を朝日に替へぬ年用意 渡部 秀子
宝くじ師走の福に縁願ふ 船田由紀子
にじり寄る炉の美しき景色かな 太宰 豊子
凄まじきまでの開けき冬の月 高田かをる
三原 美加